

## 音韻論フォーラム2009, および International Phonetics and Phonology Forum 2009 (共催) 報告

さる8月25日(月), 26日(火), 神戸大学文学部(神戸市灘区)において, 音韻論フォーラム2009が開催されました。

韓国音韻論・形態論学会から, 本学会との交流で来日されたHyunsoon Kim, Sung-A Kim先生の基調講演, 郡史郎先生, 天野成昭先生による招待講演がありました。

その他, 例年通り, 博士号取得者の講演と一般研究発表が行われました。

2日間を通して, 合計で71名の参加者があり, 質疑応答も活発に行われました。2日目の懇親会も50名の参加者があり, こちらも盛会でした。

また, 音韻論フォーラム2009に引き続き, 8月27日(水), 28日(木)に, 同じ会場で国際会議 International Phonetics and Phonology Forum 2009 (本学会共催) が行われました。こちらも盛況で, 大変充実した内容でした。

会場を提供して下さい, 運営に協力していただいた神戸大学の窪菌晴夫先生に改めてお礼申し上げます。また, 期間中に運営の手伝いをして下さったアルバイトの大学院生の方々にも, お礼申し上げます。

## 2010年度春期研究発表会予告

2010年度の春期研究発表会は, 2010年6月18日(金)に産学公連携センター・秋葉原サテライトキャンパス(東京都千代田区)で開催される予定です(開催校は首都大学東京です)。同日, 会員総会も行われますので, ご参加下さい。

なお, 6/19-20は, 筑波大学(つくば市)で日本語学会が開催されます。

## 2010年度春期研究発表会 研究発表募集

2010年春期研究発表会における研究発表を, 下記の要領で募集いたします。発表希望の方は奮ってご応募ください。

プログラム等の情報は, 4月末に発行予定のNewsletterにてお知らせいたします。

本研究発表会での発表内容は, 編集委員会による査読を経て, 『音韻研究』第14号(2011年3月刊行)に掲載されることになります。学会誌への掲載という点からも, 他学会との重複発表はくれ

ぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は, 発表1件につき, 原則として8ページです。

### <応募要領>

発表(論文)テーマ: 音韻論・音声学に関するもの, あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語: 日本語または英語。

送付方法: ①要旨, ②発表者情報を別のシートに記載し, 担当理事(菅原)宛に送付して下さい。

①「要旨」には, 発表要旨とタイトルのみを記入(氏名等は記載しない)。参考文献一覧を別紙に1枚以内で示す。

②「発表者情報」には, 氏名, 所属, 発表タイトル, メールアドレス, 住所, 電話番号を記載。メールでPDFファイルを送信(PDFファイルの作成が不可能な場合は, Wordファイルにて送信。ファイルによる応募が不可能な場合は郵送)。PDFファイルで投稿できない場合は, 事前に担当理事にご連絡下さい。

書式: A4サイズに発表時の使用言語で記載。

要旨分量: 日本語の場合(2000字以内)

英語の場合(800語以内)

締切: 2010年3月31日(水)

送付先: 菅原真理子(春期研究発表会担当理事) [msugahar@mail.doshisha.ac.jp](mailto:msugahar@mail.doshisha.ac.jp)  
〒602-8580

京都市上京区今出川通烏丸東入  
同志社大学文学部英文学科

書式を守っていない, あるいは期限内に間に合わない応募原稿は無効としますので, ご注意下さい。

4月中旬に, 発表の可否を通知予定です。

## 音韻論フォーラム2010 予告

2010年度も, 以下の要領で, 音韻論フォーラムが開催される予定です。

期日: 8月23日(月)~25日(水)

会場: 静岡県立大学(静岡市駿河区)

研究発表の募集など詳細につきましては, 来年4月末に発行予定のニューズレターで, 改めてお知らせいたします。

## 旅費の補助について

学会では, 若手研究者に対する支援を目的として, 研究発表会やフォーラムへの遠隔地からの発表者で, かつ, 非有職者(学生や非常勤講師等)を対象に, 旅費の補助を行います(一人上限2万円)。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。

該当される方は、発表応募時にお知らせ下さい。

## 学会アルファベット略称募集

近年、海外を含む他学会との交流が盛んになってきましたが、それに伴い、本学会公式のアルファベット略称を設定する必要性が出て参りました。このような経緯から、この度、会員の皆様から学会の略称を募集することになりました。

本学会に相応しいアルファベット略称を一つお選びいただき、メールで下記までお寄せ下さい(メールによる送付が不可能な場合は、郵送でお願いいたします)。結果は、次のニューズレターで報告いたします。

なお、本学会の英語名称は The Phonological Society of Japan ですが、PSJ という略称がすでに他学会(日本音声学会; The Phonetics Society of Japan)によって使用されていますので、なるべく別のものをお選び下さいますよう、お願いいたします。

送付先: 田中真一(事務局長)

[tanaka@mail.kobe-c.ac.jp](mailto:tanaka@mail.kobe-c.ac.jp)

郵送の場合は、末尾に記載されている事務局連絡先を参照下さい。

締切: 11月30日(月)

## 『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入できます。また、本学会の前身の、音韻論研究会が編纂した『音韻研究—理論と実践』についても特別価格で購入できます。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳細は、開拓社(下記)にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-2 水上ビル4F

TEL: 03-5842-8900 FAX: 03-5842-5560

<http://www.kaitakusha.co.jp>

## 『音韻研究』定期購読のお願い

学会からの配布のほかに、勤務校の研究室・図書館などに、もう1冊、研究費等による『音韻研究』の定期購読をお願いいたします。

## 会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入して下さい。印字された数字のうち8,9は、

それぞれ2008,2009の各年度の会費が未納であることを意味します。\*は、会費納入済みであることを、括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば、5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「\*9[5t]」と印字されていれば、2009年度の会費が未納で、その総額が5,000円であることを意味します。

また、年度にかかわらず、未納分の会費が納入され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付しております。

封筒をご確認の上、未納の会費を以下の郵便振込みで納入していただきますよう、お願いいたします。

郵便振込:

口座番号: 00180-6-402077

加入者名: 日本音韻論学会

年会費:

維持会員: 10,000円

一般会員: 5,000円

学生会員: 4,000円

「維持会員」は、本会を格別に支援して下さる会員です。年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

また、会員情報(住所、所属、連絡先)が変更になった場合は、必ず**事務局会計**にご連絡下さい(学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も、必ずご連絡下さい)。連絡されないままにされますと、Newsletterや『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんので、ご注意をお願いいたします。

## 日本音韻論学会事務局

【事務局長】田中真一(神戸女学院大学)

〒662-8505 西宮市岡田山4-1

神戸女学院大学 文学部 総合文化学科

TEL: 0798-51-8635

E-mail: [tanaka@mail.kobe-c.ac.jp](mailto:tanaka@mail.kobe-c.ac.jp)

【局長補佐】山本武史(広島女学院大学)

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1

広島女学院大学 文学部 英米言語文化学科

TEL: 082-228-0386

E-mail: [t-yama@gaines.hju.ac.jp](mailto:t-yama@gaines.hju.ac.jp)

【会計】桑本裕二(秋田工業高等専門学校)

〒011-8511 秋田市飯島文京町1-1

秋田工業高等専門学校 人文科学系

TEL・FAX: 018-847-6083

E-mail: [kuwamoto@akita-nct.jp](mailto:kuwamoto@akita-nct.jp)